

## 高齢難聴者向けコミュニケーション端末の開発

### ■支援の概要

わが国での難聴者数は約1,500万人と言われており、高齢化の進展により今後も増加すると考えられます。難聴になると通常は補聴器で対応しますが、高齢者の場合、難聴の進行によっては補聴器でも会話が難しいことがあります。そのため、容易に使用できるコミュニケーション機器が医療や介護現場などで求められています。

そこで、会話をリアルタイムに文字表示する高齢難聴者向けのコミュニケーション端末の開発について支援を行いました。

### ■支援の項目

- ① 製品企画
- ② 開発のための補助金等獲得
- ③ 開発進捗管理
- ④ 有効性評価

#### 【開発したコミュニケーション端末の特徴】

- 取扱説明書を読まなくても直感的に使えるシンプルなユーザーインターフェイス
- 会話を逐次変換・表示
- インターネット環境が不要（クラウド辞書エンジンを使わない）
- 会話情報の記録機能



### ■支援の成果

- ① 高齢者が使い易く、使用場所を選ばない、高齢難聴者向けコミュニケーション端末を開発することができました。
- ② 医療機関、自治体などでのフィールド評価の結果、高い評価を得ることができました。
- ③ 令和7年2月に販売を開始（製品名「語心録（ごしんろく）」）し、宇部市役所、都内の病院に採用されました。

※本製品は、令和6年度宇部市パイロットプロジェクト支援補助金を受けて開発しました。